

# 合格体験記 (75期生)

令和5年6月作成

( )期 ( )年 ( )組 ( )番  
名前 ( )

八尾高校の在校生の皆さん、今春の卒業生（75期生）の「合格体験記」がまとまりました。75期生は、高校生活の3年間を通して、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた学年でした。しかし、そのような大変な中であっても、最後まで頑張り抜いた先輩が多くいました。みなさんの直近の先輩が、皆さんの“第1志望”の実現のためにアドバイスを送ってくれています。今後の受験に向けた取り組みについて参考になることが、たくさん記載されています。例年通り、「クラブ活動との両立」、「日常における学習方法」、「受験に向けて大切なこと」など、項目別にも書いてもらいました。ここ数年は“先輩たちの合格体験記を繰り返して読むことで、モチベーションを維持して頑張れた”という声も多くなって来ました。是非、しっかりと読んで、今後の学習活動や進路実現に向けた取り組みの参考にしてもらいたいと思います。

進路指導部

## 目 次

### ◎国公立大学

#### 【一般選抜 前期】

① 大阪大学	理学部	男子ハンドボール部
② 神戸大学	農学部	生物部・卓球部
③ 大阪公立大学	文学部	ダンス同好会
④ 大阪教育大学	教育学部	陸上競技部
⑤ 大阪教育大学	教育学部	ダンス同好会
⑥ 和歌山大学	経済学部	食物研究部・写真同好会
⑦ 長崎大学	水産学部	女子バレーボール部
⑧ 奈良女子大学	理学部	ギター部
⑨ 奈良県立大学	地域創造学部	水泳部
⑩ 静岡文化芸術大学	デザイン学部	柔道部・美術部

#### 【一般選抜 後期】

⑪ 大阪教育大学	教育学部	硬式野球部
⑫ 京都府立大学	文学部	男子ハンドボール部・書道部
⑬ 奈良教育大学	教育学部	女子バスケットボール部

#### 【学校推薦型選抜】

⑭ 大阪公立大学	現代システム科学域	吹奏楽部
⑮ 大阪教育大学	教育学部	女子バスケットボール部

### ◎私立大学

⑯ 関西学院大学	教育学部	体操部
⑰ 同志社大学	商学部	陸上競技部

# ① K.G 大阪大学 理学部 前期合格 男子ハンドボール部

## (1)教科外活動（部活動）と学習との両立について

基本的には部活を優先していました。引退までは模試の時だけ部活を休み、終わった後にすぐに予備校に行って勉強していました。

## (2)1.2年時の学習方法

2年の9月ごろから予備校に通い始めましたが、正直それまでは勉強は全くしていませんでした。定期テストで7、8割取れたらいいなぐらいの感じでテストの2週間ぐらい前から勉強していたのと、前日に小テストの勉強をする以外はしていません。

## (3)志望校の決定について

予備校に通いはじめて、そこではじめて大学とか試験の制度とかを調べました。一旦志望校は高くしたほうがよいというアドバイスをいただいたので、大阪大学を志望しました。その時は全く行くつもりはなかったです。薬学部に行きたいと思っていた時期もあって2年の秋ごろは地方の医科大を志望していましたが、3年になる前に志望校を明確にしないといけない時期に難関国立大学に受かりたい気持ちが強くなりました。

## (4)3年時の学習方法

### ①部活引退前

平日は部活が終わると、どれだけ早く予備校に行けるか競っていました。このころはまだ受験に対する危機感があまりなく、周りに合わせてやっていた感じでした。

### ②夏休み

部活は終わっていたので、毎日10時ごろには予備校に行って自習していました。夏期講習などはほとんど取らずに共通テストや二次の過去問をひたすら解いて、理系科目はまだ学校で習い終わっていないので、自力でつめこみました。模試を一つの目標として、そこに合わせるように勉強を進めていました。

### ③9月～11月

一通り過去問を解き終えて、浮き彫りになった弱点をつぶすための自習をひたすらしました。しっかり計画を立てて勉強することが大事だと思います。10月からは共通テストと二次試験の勉強を6：4ぐらいでしていました。11月ごろから国語と地理の勉強を1から始めましたが、本番7割はとれました。

### ④共通テスト前

周りは共通テストの予想問題をひたすら解いていたけど、自分は毎日全教科に触れる計画を立てて、これまで使ってきた参考書でひたすら復習していました。この時期になると、どの分野を重点的に強化するのか選択することも大事になります。

### ⑤共通テスト後

#### \*国公立2次試験対策

正直ここが一番伸びます。自分も共テ本番でやらかしたけど、どれだけ悪くても自己採点した次の日には切り替えて勉強したほうがいいです。過去問を2周目やって、自分の二次試

験のレベルと同じくらいの問題を解き続けたらびっくりするほど伸びました。

### \*私立入試直前

直前に3年分だけ過去問を解いて特別な勉強はしていませんが、受かりました。

### (5)大学受験で大切なこと

勉強ではやっぱり復習が大事だと思います。間違えた問題を2度と間違えないようにしましょう。学校はあくまで多数に対しての授業になるので、自分のことは自分でよく考えたほうがいいです。他人に頼りすぎることはやめましょう。受験はメンタルが最重要。どれだけ判定が悪くても志望校は下げることはナンセンスです。自分はD判定が最高でした。

### (6)後輩へのメッセージ

受験が近づくにつれて不安や孤独を感じる事が多くなると思います。ずっと勉強し続けることはできないので自分なりの息抜きを見つけて気持ちを切り替えることが大切です。本当に頑張っていたら受験は失敗しません。長いと感じるかもしれませんが最後まで頑張ってください。

## ② M.M 神戸大学 農学部 前期合格 生物部&卓球部

### (1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

活動日はそのまま寝て、朝少し早く起き、授業の準備をしていた。

### (2)1.2年時の学習方法

塾には行かず、授業の勉強のみしていた。

### (3)志望校の決定について

入学当初から、国公立を志願していた。生物部として活動していく中で、農学に興味を持った。農学は幅の広い学問分野で、学科によって内容が全く違うため、自分のやりたいことと照らし合わせ、神戸大学農学部を決めた。

### (4)3年時の学習方法

#### ①部活引退前

特別なことはせず、授業の勉強に集中していた。

#### ②夏休み

塾に通いだし、数学、英語の基礎を固めた。また、倫理政経受験の場合、政経が自学になるので、本を買い、読んでいた。

#### ③9月～11月

初めのほうは、赤本、応用問題集を解くなど、二次試験対策を意識していた。しかし、共通テスト模試の成績がよくなかったため、二次に対する自信はなかったが、共通テスト演習に取りかかった。神大オープンはD判定だった。寝る前に、英語長文を読む習慣をつけようとしたが、あまりうまくいかなかった。

#### ④共通テスト前

共通テスト演習を重ねた。国語、英語はすぐには点が上がらないので、数学、化学、倫政

を重点的に勉強した。

## ⑤共通テスト後

### ・国公立2次試験対策

共通テストはそこまでよくなかったが、浪人も視野にいれて、受かれば儲けもの精神で勉強した。赤本を通すと点数に打ちのめされるので、七年分くらいの解答を見て、パターンを把握しようとした。

### ・私立入試直前

農学部が私立にあまりなく、自分のやりたいことと合わないという意味がないので受けなかった。

## (5)大学受験で大切なこと

受験はメンタル戦です。緊張、重圧から、普段の調子が出せず、落ちる人もいます。また、逆に、模試で少し実力不足でも、いつも通りの結果を出せば受かることもあります。ここでは自分が実践していた、受験のコツを紹介しようと思います。

### 1. 目標を壁に貼る

自分の目標を、壁に貼ってみてください。途端に部屋が受験生らしくなります。面白いことに、たったそれだけで、自分の気持ちを受験生に切り替えることができます。注意すべき点は、貼る目標を難しすぎるものにしないことです。

自分は三年生の中頃から、「好きなゲームを禁止する」という目標を実施していたのですが、二次試験前にふっと破ってしまいました。その時の脱力感は本当にひどいものでした。この経験を後輩に味わってほしくないのので、“禁止”を目標にしないでください。まずは「毎朝、7時前には起きる。」程度の小さな目標と終わるまで結果の出ない目標（二次試験 数学6割！みたいな）を貼ってみてください。

### 2. 塾はしっかり決める（もしくは行かない）

塾は、“授業の質”よりも“環境の質”を意識するべきだと思います。自分の通っていた塾は、「京大生から直接ビデオ通話で教えてもらえる」のが売りでした。そこは良かったのですが、問題は勉強環境にありました。

- ・塾に国立大学をみざす同級生がいない
- ・授業時間しか質問ができない
- ・中学生もいて少し騒がしい
- ・自習室の机が傾いている、小さい
- ・空調が両極端 などなど

非常にストレスを感じました。なかでも、すぐに質問ができないのは、勉強の速度に大きく影響しました。どうか塾選びの際は、ライバル、自習室など“周りの環境”を意識して探してください。また、よい塾がない、家で勉強ができる人は、無理に塾に行く必要はないと思います。八尾高校は自習室も質問環境も整っているので、ぜひ活用してください。

### 3. まわりに流されない

三年生の終盤に差し掛かると、なぜか、まわりがものすごく賢く見え、劣等感に悩む時期がやってきます。そんなときは、盛大に言い訳（理由付け）をしましょう。志望校の受験教科、試験内容、配点を理由にするといいです。

まわりの英単語力がやけに高いなと思ったら、それは、私立受験に単語の意味を問う問題があるからでした。やけに高度な数学の問題を解いているなど焦っていたら、自分の大学では解けなくても大丈夫な問題でした。友達の倫理政経の知識に圧倒されていたら、それはその友達が文系でもずば抜けて優秀だったただけでした。

どうしても理由がつけられないなら、それこそがあなたがやるべきことです。真剣に取り組み、直すべきところが見つかったと、喜んで改善してください。

**絶対にまわりに流され、不必要な勉強はしないでください。**自分の勉強に自信を持って、自らの道を直進してください。

### 4. 気分転換と試験当日の裏技

- ・図書館に行って本を読む
- ・新しいご飯屋さんを発掘する
- ・試験前に監督員さんとお話する

上記は、おすすめはしませんが、参考にしてほしいと思った自分の行動です。これらの行動の目的は、行き詰ったときに心を休めることです。自分は直前期にハリーポッターシリーズを読み始め、近鉄八尾のラーメン屋と弁当屋さんを開拓しました。**休むことは悪いことではありません。**あまり気を詰めすぎないでください。

また、テストのときは座布団を持っていき、監督員さんとお話をする機会を作っていました。実際に共通テストの際には、座布団の許可を取りに本部まで行く間、案内していただいた監督員さんから励ましの言葉をいただき、「自分は監督員さんと知り合いやで！」という優越感のもと、劣等感につぶされることなく、試験を終えることができました。根性のねじ曲がった卑劣な技だとは思いますが、効果は絶大です。

何度も言いますが、おすすめはしませんが、勉強を重ね、自信を持てるようにすることが正しい方法だと思います。ただ、どうしても苦しい時、つらい時は参考にしてください。**達成感、優越感、やる気の糧、自信の源になります。**これらはいくまで一例に過ぎないので、皆さんも自分に合った方法を見つけ、あまり思い悩まず、気楽に受験を乗り切ってください。

#### (6)後輩へのメッセージ

大学について、わからないことが多く、とても不安でしょう。安心してください、大学生もそこまで変わりません！さぼり癖のある同級生はいるし、テスト前には課題に追われたりもします！いろいろな人と会えるし、部活、サークルも多種多様でめっちゃたのしいです！！（自分は漫研部と起業部には入っています！）

受験は少しつらいですが、受かった後のことを考え、気楽に乗り切りましょう！大学でお待ちしています！

### ③ K.A 大阪公立大学 文学部 前期合格 ダンス同好会

#### (1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

私の所属するクラブは活動が週三日だったので、クラブのない日はできるだけ学校の自習室に寄るようにして勉強時間を確保していました。学校から家まで結構な距離があったので、クラブがある日に帰ってから勉強するのはかなりしんどかったですが、その日出された宿題や小テストの復習など最低限の勉強は必ずやるようにしていました。それでも時間が足りないときは、電車通学だったので通学中に小テストの勉強をしていました。

#### (2)1,2年時の学習方法

(1)に書いたように、普段は小テストの対策を必ずするようにして、テスト1,2週間前から必死にワークをやっていました。毎回ギリギリで大変でしたが、授業も小テストも真面目に取り組むようにしていたので、何もやっていないよりははまだマシだったと思います。また1,2年生の時にコツコツ勉強する癖をつけたことが後々受験勉強に役立ちました。

#### (3)志望校の決定について

1年生の時から、関西圏の国公立大学に行きたいとは考えていました。そのあと他の大学について調べたり、オープンキャンパスに行ったりする中で、努力次第ではなんとか届きそうなレベルであること・自宅から通えること・興味のある学科があること・学費が他の大学に比べて安く、大阪府民に支援が出ることなどの理由から、3年生の前期ぐらいに志望校を決定しました。なんとか届きそうだったとは書きましたが、それは私の体感的な話で、正直学力についてはあまり考慮していませんでした。模試の判定はEばかりでしたが頑張ればなんとかなるだろうと考えていました。

#### (4)3年時の学習方法

##### ①部活引退前

前述の通り、普段は小テスト対策、定期テスト前は自習室にこもるという風にしていましたが、3年生になってから学校内で講習が始まったので、必要な教科はできるだけ全て参加するようにしていました。一人だとただただ放課後の時間を有効活用できたし、先生の授業を受けたり質問したりする機会が増えたのもよかったです。

##### ②夏休み

まだ塾に通っていなかったもので、学校内の夏期講習+不安な教科だけ河合塾の夏期講習を受けていました(後期も受験する予定だったのでこの時期に小論文対策の講座も受けました)。私の所属するクラブは文化祭が終わってからの引退で、夏休みも結構、部活があったので、学校の講習会→部活→河合塾の講習会のようなハードな一日もありましたが、直前になればなるほどいっぱいになるので、小論文も含めこの時期に頑張っていたよかったなと後々実感しました。教科としては、中学生の頃から苦手だった数学をひたすら勉強していました。文系で一番差が生まれるのは数学なので、ここで頑張ったおかげで今までの模試では足を引っ張っていた数学が、同じ文系と戦う中で自身の強みになりました。ただ受験の基礎を固める時期に、英語をあまり対策しなかったのは少し後悔しています。国語は得意科目だ

ったので心配していませんでした。理社は、暗記の要素が多いので、ここでガッツリ対策するというよりは持続的にコツコツ勉強しようと考えていました。

### ③9月～11月

9月の文化祭で部活を引退し、周りの勉強っぷりに少し焦りだして、夏休み明けあたりからスマホに制限をかけるようになりました。といってもアプリごと消してしまうと逆に息抜きできなくなりそうだったと思ったので、7時～21時半までインスタやTwitterにロックをかけていました。もっと早い時期から制限をかけてもよかったかなと思います。また、朝の支度をする時間にYouTubeで日本史一問一答の動画を流していたり、通学の時間は単語帳を読んだりなど、すきま時間をできる限り有効活用していました。単語帳を何冊も持ってかさばるのが嫌だったので、mikanという英単語アプリを愛用していました。何日連続でやったのが分かるので、意地になってこの頃から受験が終わるまで毎日やっていました。そして、このままの勉強方法で大丈夫か心配だったのと、夜遅くまで使える自習室が欲しかったので10月半ば頃に個別指導塾に入塾しました。昼間は授業を受け、夕方は学校の自習室に残り（または講習を受け）、夜は塾に行くというルーティンができて、さらに勉強時間が増えました。塾の先生に10月中に日本史をとにかく一周し、和文英訳の練習をするように言われたのでそれもやっていました。この頃から模試の見直しをしっかりとすようになり、志望校の赤本も1年ずつくらい解きました。私は赤本に手を付けるのが遅めだったので最後の方にちょっと焦りました。何年分も解くのはギリギリでもなんとかできますが、早めに触れておいた方が気は楽です。

### ④共通テスト前

暗記科目に割く時間が多くなりました。それとひたすら共通テストの過去問・予想問題を解きまくってました。学校で配られる予想問題等も必ず解くようにしていました。共テの問題形式は独特なので、とにかく慣れることが大切だと思います。逆に言えば、独特だからこそ問題傾向が読みやすくもあります。何回も共テ形式の問題を解いているうちに、どんな問題が出されるか分かってくるので、普段から「自分だったらここを問題にするだろうな」ということを考えながら勉強していました。また、共テの国語・英語はとにかく時間との勝負なので、過去問・予想問題を解く中で自分が時間をかけてしまう場所を見つけて、どう解くかを事前に決めていました。そして模試を受ける中で調整したりしていました。さらに、学校の講習・塾の授業に加えて、再び河合塾の講習に行ったり、受験する予定の私大や公立大の本番想定模試に行ったりしていました。本番のことをより具体的に想像できるので受けてよかったと思います。それとこの時期からより本気で体調管理に取り組むようになりました。R-1のヨーグルトをいっぱい食べていました。

### ⑤共通テスト後

#### \*国公立2次試験対策

私は私立の入試が2月上旬までであったので、公立大の2次対策に本腰を入れ始めたのはそれ以降でした。2月下旬の本番まで過去問を、市大の分も合わせて約10年分ひたすら解いていました。公立大文学部の2次は国語と英語で、記述がほとんどだったので、とにかく先生方に何回も見てもらっていました。国語に関しては毎日と言っていいほど添削していただ



き、そのおかげでどう書けば点数をもらえるのかだんだんとコツを掴んでいきました。過去問だけでなく、現代文の記述対策用のワークも解いていました。公立大では文学部のみ古文・漢文が出題され、しかも他学部より30分しか受験時間が長くないので時間配分の感覚を掴むのが大変でした。また、英語は10月頃に解いた和文英訳のワークの2周目や、他の和文英訳用ワークも解いていました。和文英訳の問題では、英語にしにくい日本語ばかり出題されるので、分かりづらい日本語を分かりやすい日本語に言い換える練習もしていました。私大対策の時からです、長文を早く正確に読めるようにも意識して勉強していました。

### **\*私立入試直前**

私大は近大・関大・同志社と3校受けたのですが、基本一番難易度の高い同志社に力を入れて勉強していました。同志社の英語は長く、骨のある文章が出るので、同志社の過去問を解くことで他の大学の入試でも必要な力が多少は身に付きました。しかし、私大の入試は受ける大学によって結構問題の形式が変わるので、どれだけ模試の判定が良くても最低1年分、できれば2,3年分は過去問を解いて慣れていた方が本番でも焦らずに済みます。同志社は受かるか五分五分だったので、できる限り沢山の過去問を解くとともに、英単語・日本史用語のインプットもひたすらしていました。日本史は過去問や一問一答を解きまくることで、限界まで脳に詰めていました。大体の大学は選択式なのですが、同志社の日本史は筆記が半分ぐらい出るので普段から漢字をいっぱい書くように意識していました。それでも、大阪天満宮までお参りに行ったにも関わらず私は本番で「菅原道真」の漢字を間違えたので、しつこいくらいに漢字は確認した方がいいです。

### **(5) 大学受験で大切なこと**

とにかく自分のメンタルです。体もですが、気合を入れすぎて息抜きを忘れ、心の調子を崩すと、本当に何もできなくなり逆に時間をロスします。私は「これがあれば大丈夫！」をいっぱい作るようにしていました。休憩時間のお菓子や、凹んだ時に逃げ込む用の大好きな曲や漫画、「最悪受験が上手くいかなくても人生終わるわけじゃないし」の気持ちなどです。また、私は本番でとても緊張してしまうタイプだったのですが、始まる前にチョコラムネとミンティアを食べて目薬を差して前髪をピンで止める、というルーティンを模試の時から続けていたので、始まるまでどれだけ緊張していてもそれをすると少し落ち着いて普段通りに解くことができました。平常心を取り戻す方法が一つでもあればいいかなと思います。それと、周りの人も受験生であるということを忘れないことです。受験期はどうしても考えがネガティブな方に行ってしまうがちです。推薦で早く進路が決まった人の姿や、どこからか聞こえてくる誰かの模試の良い判定に無性に気が立ってしまいます。そこで自分が他人を傷つける側に決して行かないでください。全く悪気なく言った言葉でも周りを傷つけていることは本当によくあります。敵は入試問題だけで十分です。

### **(6) 後輩へのメッセージ**

ここから約1年、つらいことも沢山あると思いますが、合格した時の喜びはその日々を一瞬で忘れてしまえるくらい大きなものです。万が一ダメだったとしても、努力した分はどこかで自分が納得できる形で返ってくると思います。それと、模試の悪い判定は本当に気にしなくて大丈夫です。何を間違えたかだけを気にしてください。良い判定は頑張る糧にしてく

ださい。学校の授業や先生、施設など身のまわりのものを最大限利用して、最後に悔いが残らないように気を長くして全力で頑張ってみてください。皆さんの受験が満足のいく形で終わることを祈っています。

#### **④ K.M 大阪教育大学 中等教育専攻 理科教育 前期合格 陸上競技部**

##### **(1)教科外活動（部活動）と学習との両立について**

部活動が終わった後は、疲れてしまって勉強ができていませんでした。登校時の電車の中で英単語だけ覚えるようにしていたくらいでした。少しでもいいので、早いうちに勉強する習慣をつけておけばよかったと後悔しました。

##### **(2)1.2年時の学習方法**

小テストや定期テスト前にだけ勉強していました。高2の秋から通塾（英語、数学）を始めました。

##### **(3)志望校の決定について**

将来の夢が理科の先生だったので、中2の頃から教育大学に進学したいと考えていました。大学でも競技を続けたかったので、陸上部の活動が盛んな大阪教育大学に決めました。

##### **(4)3年時の学習方法**

###### **①部活引退前**

平日は部活動を優先したかったので、学校の講習は早朝のものだけ受講して、夜は週2の塾と映像授業（学びエイド）を受けていました。休日は、受講できなかった講習の問題集を購入だけしてそれを解いたり、映像授業（学びエイド）を受けたりしていました。

###### **②夏休み**

最後の大会に向けて、まだまだ部活動中心の生活でした。午前に練習があったので、午後から学校の自習室を利用したり講習を受けたりしました。映像授業（学びエイド）や授業で使っていた問題集も解いていました。11月に大教大の推薦入試を受けるために、志望理由書の準備を始めました。

###### **③9月～11月**

推薦入試を受けるための面接練習をしました。何度も先生方のところに行って、指導していただきました。朝は7時半に学校の自習室かホームルーム教室に行って理科の問題を中心に解いて、放課後は18時頃まで自習室で演習問題をしていました。下校後は塾の自習室で21時半まで同様に勉強していました。

###### **④共通テスト前**

自習室に通い、正月もずっと勉強していました。殆ど問題演習をしていて、疲れたときに古文単語、英単語、リスニング練習を挟んでいました。共通テストの過去問は11月下旬頃から解いていきました。スタートが遅かったので、12月末までは伸びなくても仕方がないと点数が悪くても割り切って進めました。

## ⑤共通テスト後

### \*国公立2次試験対策

学校が休みになっても毎日登校し、夜は塾に行き、とにかく自習室に通いました。わからない問題はチェックをつけておいて、その都度先生に聞きに行きました。2月中旬には推薦の発表があり不合格でした。私大受験をしていないので追い込まれましたが、合格することだけを考えて必死に取り組みました。2次試験は物理1科目だったので基礎の基礎から自分で公式の証明や説明ができるまで問題集をやり込みました。過去問は10年分を3週間前に始め、試験前の2週間は過去問(直近5年分を2周分)や丁寧に問題演習をして最後の数日は参考書の細かいところまで読み込みました。

### \*私立入試直前

私大は受けていません。

### (5)大学受験で大切なこと

色々うまくいかないことも出てきて心が折れそうな時や、折れた時にどれだけ早く立ち直ることができるかが大事だと思います。参考書や問題集は、基本レベルは学校のもので十分カバーできるので、自分の目標レベルに合わせて必要なものだけ買うといいと思います。1冊を丁寧に仕上げることが大切です。

### (6)後輩へのメッセージ

部活動や課外活動をしている人が多いと思いますが、自分が納得して活動を終わることができるように最後まで頑張ってください。また、試験までは最後の詰め込みをすることで点数を上げることができるので諦めずに頑張ってください。

## ⑤ A.F 大阪教育大学 小中教育専攻 社会科教育 前期合格 ダンス同好会

### (1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

ダンス同好会は活動日が週3回で少なく、長期休みの活動もほかのクラブより少ない方だったので学習との両立は比較的しやすかったです。活動日でない日は、学校の自習室や図書室に行ったり、学校の近くの図書館に寄って帰ったりしていました。

### (2)1.2年時の学習方法

電車通学かつ通学時間が1時間以上かかっていたので、毎朝の電車の中で単語帳を見ていました。英単語は書くよりも見て聞いて覚えるのが私に合っていたので赤シートを使用し、スマホで音声を聞いて覚えていました。駅から学校までの時間は洋楽や英会話ポッドキャストを聞いていました。定期テスト対策は英語でいえば、先生に音読用の動画をお願いしてclassroomにあげてもらって毎日音読していました。全教科に共通していえることは、ワークを何周も説くことです。そして、授業を大切にすること。生活リズムを整えて、授業に集中できるようにしました。英検は市販のテキストで筆記テスト対策、学校の先生とスピーキング対策をして準2級と2級を取得。資格は1,2年生のうちに多く受験しました。

### (3) 志望校の決定について

中学生の頃から小学校教員になるという夢を抱きはじめました。教員就職率が高く、周りの先生に大教出身者が多かったことから大阪教育大を志望しました。また、元々社会科が好きで社会の勉強もしたかったため、小学校教員を目指しながら社会について学べるということで小中社会科コースを選びました。高校 1 年生の頃からオープンキャンパスはオンライン、現地を問わず何回も参加。第二志望の国公立や私学のオープンキャンパスは 2 年生の頃に行きました。

### (4) 3 年時の学習方法

#### ①部活引退前

春休みは国数英の基礎固めをしました。特に古典単語をコツコツ復習しました。長時間机に向かうことに慣れるため、50分勉強+10分休憩のサイクルで集中力を高めていました。3月の中旬はクラブがないこともあり、生活リズムが崩れるのを避けたかったので朝から近所の図書館に友達と勉強しに行ったりしました。部活を早く引退した人に遅れをとりたくなかったので、クラブ後の帰りの電車や帰宅してからの時間を有効活用するように努めました。

#### ②夏休み

文化祭準備、クラブ、オープンキャンパス、夏期講習、塾、模試に大忙しの時期でした。勉強時間は他の受験生に比べて本当に少なかったと思います。その中でも時間のあるとき（クラブ前後など）に自習室や図書室で勉強をしました。学校の講習で苦手だった数学がちょっとずつわかるようになってきました。漢文の勉強を本格的に始めたのもこの時期でした。

#### ③9月～11月

文化祭で部活を引退してすぐ定期テストがありました。学校型推薦を受けるにあたって評定が必要だったので定期テストの勉強に力を入れていました。秋休みもよく友達と近所の図書館に勉強しに行きました。10月の模試の後に大きく体調を崩してしまい、心身ともにきつかったです。しかしそれをバネにしてそれ以降の受験勉強を頑張りました。土曜日は学校の自習室に朝から夕方までこもって勉強し、この頃から理科基礎と社会の勉強を本格的に始めました。地理の参考書を買ったのはこの時期でしたがもう少し早めに買えばよかったなと少し後悔しています。受験科目を決めたら早めに用意することをおすすめします。本命のテキストを決めて、そこに書き込んで自分だけのテキストを作ると共テ本番前に見返すとき便利でした。英単語帳は周りがシス単を買う人が多いなか、私はオリジナル単語帳（手帳サイズのノートに、問題を解いていく上で分からなかった・知らなかったものを赤シートで覚えられるようにしたもの）で乗り切りました。学校推薦型選抜の面接対策を11月中旬頃、学校の先生にお願いして放課後練習しました。

#### ④共通テスト前

12月になると授業が午前で終わるので、そのまま自習室に残ることが増えました。夜ご飯を持って行って塾で夜遅くまで自習することもありました。平日8時間、土日は12時間勉強することを目標にしていました。共通テスト対策の黒本を使うことが多かったです。

## ⑤共通テスト後

### \*国公立2次試験対策

2次は小論文だけだったので、進路閲覧室の赤本を借りて8年分くらいしました。添削は社会科の先生と国語の先生にお願いをしました。小論文のやる気がないときは漢字の勉強をしてリフレッシュ。社会系の本を読んで多角的な考え方を身につけるようにしました。

### \*私立入試直前

第一志望に集中したかったので私立は出願しませんでした。

## (5)大学受験で大切なこと

健康が第一です。睡眠はしっかりとる方がすっきりすると思うので早寝早起きをしてください。(個人的におすすめなのは朝の誰もいない教室で勉強すること。モチベーションが上がるし、集中できます。一度やってみてください。)また、スマホやテレビなどの誘惑に負けないこと。机に向かう前にスマホは電源を切って、家では玄関のポストに入れておいたりして工夫しました。私の場合、テレビは元々あまり見ない方なので大丈夫でしたが、周りの友達でついテレビを見てしまっと思うように勉強できなかったという声をよく聞きました。家で勉強に集中できない人は自習室など場所を変えるといいと思います。それと、同じ意識の人と勉強するのがいいです。受験期は誰しもしんどい思いをするものなので、お互いのことを思いやれる友達と一緒にいるとつらい時期も乗り越えられます。

## (6)後輩へのメッセージ

私は模試での判定のアップダウンが激しい例外的な受験生でした。笑 それでも、どれだけE判定が出て第一志望を諦めようとしたことはなかったし、他の受験生の誰よりも大教に行きたい気持ちが強かったと思います。だからこそ最後まで頑張ることができ、合格できたのだと思っています。楽しいキャンパスライフを夢見て受験勉強をするといいと思います。高校生活は本当にあつという間なので、勉強はもちろんですが、行事ごとや友達との時間も全力で楽しんでください!

## ⑥ Y.O 和歌山大学 経済学部 前期合格 食物研究部&写真同好会

### (1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

そもそも私は週に2回しか活動がなく、そこまで影響はありませんでした。

### (2)1・2年時の学習方法

3年だけ頑張ればいいと考えて全然勉強に身が入っていませんでした。しかし英単語だけは先輩からやっておけと言われた事もあり週のテストは頑張って覚えていました。親からは推薦を狙うために1・2年の時に勉強しておきなさいと言われていましたが全く聞いていませんでした。年長者のいう事は聞くべきだと今では思います。

### (3)志望校の決定について

初めはなんとなく大阪公立大学を目指していましたが、共通テストでこけてしまった事もあり第2志望だった和歌山大学に変更しました。

#### (4)3年時の学習方法

##### ①部活引退前

まだ何も手を付けていませんでした。今考えれば、この時期から勉強していた人が志望校に受かっているなあと思います。

##### ②夏休み

午前は学校へ講習に行き、午後は塾へ夏休み講習に行っていました。でもまだまだ休みの日などは「今日は単語を覚えた」を隠れ蓑に遊んでいました。

##### ③9月～11月

この頃はあらゆる時間を勉強に回そうとしていました。休み時間でも友人と日本史の年代クイズアプリ（日本史年号問題集というアプリがオススメです）を使って勉強したり、授業のちょっと空いた時間も軽く覚えたい事を書いたメモなどを見たりと、少しの時間も無駄にしたいと行動していました。

##### ④共通テスト前

基本は塾で勉強していましたが、家にいるときはYouTubeで様々な教科の解説動画を見ていました。私はひと月ほど前から実際の共通テストの問題を解きましたが、それで私は痛い目を見たので一度夏休み辺りに解いて感覚を知ることが大事だと思います。どんな型の問題が出ているのか、どこに何分使うかなど時間のことも気を付けて問題を解きましょう。

##### ⑤共通テスト後

###### \*国公立2次試験対策

私立前もそうですが、この頃は学校も休みなのでずっと塾にこもっていました。私立も振るわずがむしゃらに過去問を解いていました。特に筆記の部分は自分だけでは判断できないので、塾の先生に何度もお願いして見てもらっていました。

###### \*私立入試直前

大体の私立は1週間間に様々な所に受験しに行くのですが、私は3つの大学でほぼ休み無しで受けに行きました。その結果どこも受からず本当にメンタルがやられそうでした。3つも選んでいるためその大学大学にある問題の特徴を掴むことができず惨敗しました。受ける時は大学を絞ってしっかりと休める日程を組むことが大切です。「経験者は語る」です。

#### (5)大学受験で大切なこと

このページに来るまでに何人も同じ事を言っていると思いますが「早めのパブロン」と同じく早めの受験対策が大事です。あと英単語は覚えましょう。

#### (6)後輩へのメッセージ

途中、上手くいかなくて辛い気持ちにもなると思います。ですが、最後まで諦めずに頑張ってみてください。無駄なことは何もありません。最後の1つまでどこにも受からなかった人が言うので本当です。

**⑦ S.H 長崎大学 水産学部 水産学科 前期合格  
女子バレーボール部**

**(1)教科外活動（部活動）と学習との両立について**

高校は部活をしっかりやりたいと思っていたので、勉強は、毎週の小テストの勉強や定期テストで欠点を取らないような最低限の勉強を続けていました。

**(2)1.2年時の学習方法**

部活があったので家での自習はほとんどしていませんでした。その分授業中で習った範囲を定期テストまでに理解できるように先生に質問をしたりしていました。

**(3)志望校の決定について**

早めに決めるほうがいいと言われていたので、どの学部に行きたいかは2年の夏には決めていました。そこから行きたい学部のある大学を調べました。最終的に第一志望を決めたのは3年の夏です。

**(4)3年時の学習方法**

**①部活引退前**

引退までは部活に集中したかったのでほとんどしていませんでした。

**②夏休み**

家だとやる気が起きなかつたので毎日塾の自習室に行って勉強していました。塾の授業の復習も完璧に理解できるまでするようになりました。授業は試験に出ることしか言っていないのできちんと復習することが大切だと思います。

**③9月～11月**

夏休みにやりきれなかつた基礎を固めていました。模試でまだ習っていない範囲が出て焦ることもありましたが、新しいことはせずに模試のやり直しや一度解いた学校の問題集をもう一回解いたり、英単語の暗記をしたりしていました。学校推薦型選抜を受けるつもりだったので、面接の練習もしていました。

**④共通テスト前**

ひたすらセンター試験や共通テストの過去問を解いていました。この時期が一番勉強していたと思います。不安だったし共通テストが迫ってきている実感がわかなかつたので勉強した後悔が残らないようにしようと思っていました。

**⑤共通テスト後**

**\*国公立2次試験対策**

受験科目が数学と生物でどちらも記述式だったので、過去問を解いた後に塾や学校の先生に添削してもらっていました。数学は公式を暗記するよりその公式を使う意味や利点などを覚えるようにしていました。

**\*私立入試直前**

共通テスト利用のみで出願したので私立の勉強はしていません。

**(5)大学受験で大切なこと**

自分の力を過信しないことだと思います。問題を解いた後は、理解が足りていないところ

はないか、暗記できていないところはないかを注意しながら復習すると良いと思います。逆に、試験の時は自分が一番賢いから自分が解けない問題は周りも解けないだろうと諦めることができる気持ちも大切だと思います。

#### (6)後輩へのメッセージ

自分は、学校推薦型選抜で一度落ちてからもう一度受験して合格しました。一回その大学に落ちたからといって諦める必要はないと思います。不安なことが多いと思いますが受験が終わって振り返った時に自分が誇れるような大学受験にしてほしいです。体調管理には気を付けて頑張ってください。応援しています！

### ⑧ M.I 奈良女子大学 理学部 前期合格 ギター部

#### (1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

授業内で理解して、家では宿題だけしていました。

#### (2)1.2年時の学習方法

小テストの勉強はしっかりしていました。あとは定期テストの前に勉強する、授業をまじめに受けるぐらいでした。

#### (3)志望校の決定について

私は宇宙のことが勉強したかったので「宇宙物理」の研究室がある大学で調べていきました。

#### (4)3年時の学習方法

##### ①部活引退前

この頃はまだ共通テストの勉強はしていませんでした。授業と定期テストの勉強ぐらいです。

##### ②夏休み

溜まっていた共通テスト模試のやり直しをしました。自分の苦手範囲が分かってその後の計画を立てやすくなりました。そのあとは英語と数学ばかり解いていました。英語は長文問題、分からない単語がでてきたらその都度調べるようにしていました。数学は「データの分析」「数列」「ベクトル」でした。自分で解き方を考えてから解説を読んで、自分の考え方と見比べていました。

##### ③9月～11月

この頃に物理の授業が終わります。物理の総復習ができますよ！私は物理の公式一覧を自分で作りました。化学は「モル」「質量パーセント濃度」など共通テストでよく出る1・2年に習った範囲を解きました。模試を解き直すより、参考書の簡単な問題を解いていきました。地理の勉強は11月ぐらいから始めました(すごい遅いです！みなさんはもっと早くから始めましょう！)「コンパス」という参考書をよく使いました。

##### ④共通テスト前

物理・化学ばかりやっていました。あせらず教科書どおり(解答どおり)の解き方で、確認しながら解いていきました。



## ⑤共通テスト後

### \*国公立2次試験対策

定義をしっかりと理解する、ちゃんと説明できることが大事です。ex)ベクトルふたつのベクトルが「大きさが0でない」かつ「平行でない」じゃないと係数比較できないなど

### \*私立入試直前

過去問で傾向をつかむことが大事です。どんな感じなのか見ておくだけでもいいかもしれません。

## (5)大学受験で大切なこと

あせって解かない 一問一問頭にしみこませるイメージで！

## (6)後輩へのメッセージ

私は共通テストで思ったような点数が取れなくて、私立も公立もE判定でした。なんなら私立の前期は落ちています。そんな状態でも合格した先輩がいることを覚えておいてください！理想は、共通テストで良い点数を取って、自信をもって二次試験に臨むことですが、たとえ共通テストで良い点数を取れなくても最後まであきらめないで欲しいです。少しずつでも自分のものにしていけば大丈夫です！応援しています！

## ⑨ M.T 奈良県立大学 地域創造学部 前期合格 水泳部

### (1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

練習後に疲れて眠くなったときには、思い切って寝て朝に宿題などをしていました。眠たいときに勉強をしてもなかなか頭に入らないし、眠気と戦いながら勉強をすると、かえって時間がかかります。やるときと休むときの切り替えを大切にしていました。

### (2)1.2年時の学習方法

2年の冬までは小テストや定期テスト前の勉強のみしていました。正直成績は良くなって、数学が特に苦手でした。私が受けた大学は共通テスト3科目で受けられるので、数学は最終的に避けることになりましたが、苦手なままで終わった後悔は今もあります。行く大学の選択肢を増やしたい方は、なるべく1.2年のうちに苦手科目をつぶすのがいいと思います。この時期に小テストで覚えた古典単語や英単語は、受験の時にも意外と覚えており役に立ちました。詰込みの勉強をせずに、反復して長期的に覚えるようにすると後々すごく楽になります。

### (3)志望校の決定について

3年生の春頃まで大阪府内の大学しか考えていなかったのですが、授業で地方大学の魅力を知って視野を広げて調べてみたところ、知ることができました。大学選びの選択肢が狭くなってしまっているので、共通テストの科目は絞らず仮の第一志望として考えていました。第一志望に確定したのは3年の冬でした。現時点で付近の大学を考えている方は、一度もう少し視野を広げて調べてみてください。

## (4)3年時の学習方法

### ①部活引退前

数学と英語は必ず毎日やっていました。理科基礎と社会科目は、定期テストの範囲はせめてやる、と決めて合間に暗記をしていました。スマホから離れるために、タスク管理をスマホで行うのをやめて、手帳に記録するようになりました。

### ②夏休み

学校から紹介があった河合塾の小論文講座を受けに行きました。勉強ばかりでは気が滅入るので、文化祭の準備を手伝いに学校にも行きました。英語は毎日長文に触れて、忘れていた単語を覚え直し、理科基礎はまとめノートを作って暗記分野を一気に復習しました。生物基礎は今まで教科書を読んでいたのですが、映像で学ぶと驚くほど素直に覚えることができるようになりました。国語は古典を中心に、数学は基礎を徹底的にやりこみました。社会科目は合間に問題集を解いていました。

### ③9月～11月

国語は時間を計って解いて解説をよく読み、理科基礎と数学は苦手単元に絞って対策しました。社会科目は参考書を読んでから演習の繰り返しでした。リスニングが伸びなくて不安だったので、音声を毎日聞いてスピードに慣れるようにしました。毎日聞いていたらゆっくり聞こえるようになったので、とにかく慣れが大事です。当時考えていた大学の2次試験を解く時間も設けました。

### ④共通テスト前

時間配分を意識しながらひたすら問題演習をしました。本番は緊張でいつも通りにいかないことも想定しておきました。ご飯を食べているときには資料集を眺めてグラフなどをチェックしました。模試の解き直しをして、間違えた問題とたまたま合っていた問題をまとめたやり直しノートを作りました。理社は、特に覚えたいことを付箋に書いて部屋に貼り、当日はそれをひとまとめにして持って行き最終確認に使いました。

### ⑤共通テスト後

#### \*国公立2次試験対策

科目は小論文でした。英語読解を含むものもあったので、英語の先生と国語の先生に添削をお願いしました。共通テスト後にこわいのは、燃え尽きてしまって2次試験の勉強に力が入らなくなることだと聞いていたため、自己採点が終わった次の日からすぐに対策を始めました。添削で先生に成長を褒めてもらったのが嬉しくて自信に繋がりました。

#### \*私立入試直前

私立は受けませんでした。アドバイスができず、ごめんなさい。

## (5)大学受験で大切なこと

1つ目は抱え込まないことです。共通テスト直前期は不安で押しつぶされそうでしたが、学校の友達と話していると安心できました。誰かに話を聞いてもらうだけでも楽になるので、辛いときは周りに頼ってください。2つ目は自分を信じてあげることです。「最後に伸びる」というのは本当なので、模試の結果が悪くても絶対にすぐに諦めないでください。自分の人生は自分のものなので、簡単に他人に流されないようにしてください。悩んで迷って、それ

でも前を向く経験は自分の糧になります。

### **(6)後輩へのメッセージ**

まだ進路についての考えがあまり無く、不安に思っている方もいると思います。でも、日常のふとした瞬間とか、何気なく好きでやっていることなどが意外にも自分の学びたいことに繋がったりします。だから今は何事にも興味をもって、高校生活を思いっきり楽しんで欲しいです。学びたいことが決まっている方は、大学などをたくさん調べておいてください。早いうちからオープンキャンパスに行くのもお勧めします。大学に進む他にも、進路の選択肢はいっぱいあるので、自分に合うところを見つけてください。それぞれが望む道に進めることを願っています！

## **⑩ H.T 静岡文化芸術大学 デザイン学部 前期合格 柔道部&美術部**

### **(1) 教科外活動（部活動）と学習との両立について**

定期テスト一週間前に勉強するぐらいで部活引退するまでは受験勉強はあまりしていなかった。

### **(2) 1.2年時の学習方法**

宿題と定期テストの勉強だけやっていた。定期テストは欠点を取らないようにしていた。

### **(3) 志望校の決定について**

芸術系は私立だとお金が結構かかるので国公立に行くことは決めていた。大学のホームページや口コミなどを見て、したい事が出来る大学を3つぐらいに絞った。画塾とかには通っていなかったの、その中で実技無しでいけるところにした。

### **(4)3年時の学習方法**

#### **①部活引退前**

柔道部と美術部は夏休みまで行っていて、文化祭準備もあったりして、部活の間とかで単語帳とかを見ていた。

#### **②夏休み**

①で言ったように夏休みが終わるまで、部活や文化祭準備のため、あまり勉強はしていなかった。空いている時間と家に帰ってから夜に英単語を覚えるぐらいしかしていなかった。

#### **③9月～11月**

文化祭が終わってから9月中は推薦を受けるのに成績が必要だったので、前期末考査の勉強をしていた。10月から共通テストの勉強を始めた。英語が苦手なので英語を多めにやっていた。10月の最後から11月は推薦のために面接と小論文を先生に見てもらっていた。

#### **④共通テスト前**

放課後、学校に残って共通テスト形式の問題集や過去問をやっていた。一教科に一つ問題集を決めて、それをやり切ったら、また新しいのを始めるっていう感じでやっていた。共通テスト直前は問題集もやり終わったので、共通テストの再試験の過去問をやっていた。

## ⑤共通テスト後

### \*国公立2次試験対策

二次は数学だけだったので、チャートと授業の演習で使っていた問題集をやっていた。塾に行っている友だちからテキストを借りたりして、とりあえず問題をたくさん解いていた。授業が無くなってからも教室を開けてもらって学校で勉強していた。

### \*私立入試直前

私立は受けなかった。

## (5) 大学受験で大切なこと

塾には行ってなかったので、学校で友達と勉強していた。分からない問題を教えてもらったり、問題を出し合ったり出来る友達がいるとやる気出るからいいと思う。友達が本当に大切だと思う。

## (6) 後輩へのメッセージ

大変なこともあると思うけど頑張ってください。しんどい時は友達と話すといいと思います。

## ⑪ R.F 大阪教育大学 中等教育専攻 家政教育 後期合格 硬式野球部

### (1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

私は硬式野球部のマネージャーをしていました。クラブがあったので、休日でも1日中拘束され部員さんとは比にならないと思うけれど家に帰って勉強する元気はほぼありませんでした。だから、次の日の小テストの勉強、予習は最低限するようにしていました。そして、受験生になる年の春予備校に通い始めて、みんなが本気で勉強し始めているのを実感し、受験生の自覚を持ちました。

### (2)1.2年時の学習方法

3年になるまでは塾にも通っておらず、定期テスト前の勉強しかしていませんでした。でも、ひとつひとつのテストで気を抜かず2週間前から意識してテスト勉強に取り組むことは続けるようにしていました。1番後悔していることは、日本史など、定期テストには出ないけど、入試には出る内容を勉強しなかったことです。その時の私は定期テストの点を取ることしか考えることができなくて、全くその範囲は見もせずテストに望んでいました。みんなそうだと思うけれど、逆にそのようなところでちょっとでも覚えておくと、他の人よりもリードすることになるなど今思い返すと感じます。

### (3)志望校の決定について

中学生のときから数学が飛び抜けて苦手で、やり切ったけど高校受験で本番の結果があまり良くありませんでした。それが悔しくて、高校で数学を頑張ろうと決めました。そう思ったときに国公立は9教科で数学もあり、私立志望は、自分の中で苦手な数学から逃げている感じがするのが嫌で国公立を志望しました。家庭科の教師になる夢を持っていたので免許を取れる上、実績もある大学を調べていくうちに大阪教育大学を見つけ、行きたいと思うようになりました。

## (4)3年時の学習方法

### ①部活引退前

部活引退前は部活のお守りや鶴を折るので精一杯であまり勉強出来ていませんでした。授業を寝ずにしっかり聞くことに重きをおいて、わからないことは授業が終わったらすぐ聞きに行き解決することを心がけていました。

### ②夏休み

7月の後半に部活を引退し、7月の間は勉強しながらもまだ切りかえきれていない自分がいました。8月からは毎日何か出来るようになるという目標を立て、私はスケジュール帳で予定を管理していたので1日1日の欄に「今日は数学の三角関数のどの問題を理解した！」など何ができるようになったかを詳しく書くようにしました。そうすると自分の努力が目に見えるようになり、1ヶ月終わったあとの真っ黒なスケジュール帳はのちに私の自信に変わりました。そして、同じ予備校で朝から晩まで12時間勉強をがんばっている人達の姿をみて、私も頑張ろうと本気で勉強しました。

### ③9月～11月

秋は周りが公募で合格し始めたり、共通テストの演習で思うようにいかなかったり焦る時期だと思います。私はリーディングの予想問題でこれまでにない点を取り、他の人と比べ完全にモチベーションを失いました。でも、他の人と比べても意味が無いと思い自分を奮い立たせました。私はここで主に社会など暗記科目を詰めていきました。また、予備校の先生とこれから苦手な数学は最後までやるのではなく、やるところとやらないところをハッキリさせて取り組んでいくことを決めました。そうすると気持ちも楽に数学に取り組むことが出来ました。また、社会で政治・経済を取っていたのですが、この科目はいつ始めても点数に直結するなど感じました。本格的に始めたのは秋で、ひたすらYouTubeの動画を見て参考書に赤シートで消えるペンで線を引き暗記していました。安定して7割を越えられる教科だと感じました。理科基礎の科目選択は後から変えたいと嘆いている人や直前になって焦って変えている人も多くいたので、しっかり自分と合っているのか、問題傾向、難易度を調べて選択することが重要だと思います。

### ④共通テスト前

共通テスト前は各科目の自分が抜けているところを模試で見つけてその穴埋めと自分に自信をつけることに集中しました。例えば数学で以前にやった問題と似たやつを試してみたり得意な英語を解いてみたり…です。いちばん大切なことは分からないことは良い意味で諦めをつけることだと思います。直前に足掻いてもどうにもならないこともあります。特に数学では限りがあることを私は自覚していたので、その時間を暗記科目に費やしたり、社会系の問題をひたすら解いたりすることに集中しました。

### ⑤共通テスト後

#### \*国公立2次試験対策

前期の2次試験は、小論文でした。3年の夏に予備校の小論文の講習を受けていたので、共通テストが終わったらすぐに実践の対策に取りかかりました。主に、学校の先生の添削指導を受け、10回ほど書きました。隙間時間は、学校で借りた参考書を読んでいました。とに

かく時間内に書き切る練習を重ねました。後期は、面接でした。前期試験に落ちたショックは思った以上に大きく、立ち直るのは難しかったけれど、発表から5日後に後期試験だったので、すぐ練習に入りました。学校の先生と予備校の先生に見てもらいました。自分が話す内容を大まかに決めて、とにかく何回も口に出して練習することを大切にしました。本番は震えるくらい緊張していたけれど、そこで何もできなかつたら意味がないのでとにかく前向きに考えて、落ち着くことに集中していました。名前、受験番号を言う流れなど、練習のときと形式が違ったりするので、必ずこういう流れなのだと思い込まないようにしてください。考えていたより面接官の方が和ましてくださり落ち着いて話すことが出来ました。

### \*私立入試直前

私立は受けていません。その分、周りが私立の勉強をしている間に2次試験の勉強が出来たので、自分の中で少し安心出来ました

### (5)大学受験で大切なこと

いちばん大切なことは、自分に自信を持つことだと思っています。私は極度の心配性で、自分の得意な英語の模試で大きな失敗をして悔しい思いをしました。ありきたりだけど、練習を沢山積んで自分の弱みを知り、自身の安心材料にすることは本当に大切だと思います。そして、最後まで諦めないこと。私は、最後の模試までE判定以外とったことはありませんでした。判定は全く気にせず1日1日出来るようになったことをスケジュール帳に書いていきました。本番では、自己最高点を取ることができ、2次試験に落ち着いて備えることが出来ました。毎日することを決め、それを達成した経験は自分の自信に繋がります。勉強出来ない日は無理にするのではなく、仕方ないと思う日も大切だと思います。そうすることで、中途半端になった自分を責めることもなくなります。最後に、莫大なお金をかけて予備校に通わせてくれ、毎日サポートしてくれている家族への感謝も大切にしてほしいです。最後合格を報告したとき、私以上に喜んでくれた両親の顔は忘れられません。

### (6)後輩へのメッセージ

受験生になってすぐは、スイッチも入らず、クラブなど他のことでいっぱいだったと思います。しかし、本気になって勉強してきた毎日はクラブ活動に負けないくらい忘れられない思い出になるし、今になれば楽しかったと思えます。「しんどいことには終わりがある」この言葉を信じて、がむしゃらに突き進んでいってください。辛かったら周りに相談してください。みなさんが自分の満足いく受験生活を過ごせるように応援しています。

## ⑫ K.Y 京都府立大学 文学部 後期合格 書道部&男子ハンドボール部

### (1)教科外活動(部活動)と学習との両立について

私は兼部をしていたので、活動時間が重なっている場合に一方を優先させてもらうことはありました。ただ、時間的な制約の少ないクラブに所属していたこともあり、両立を苦しむことは特にありませんでした。課外活動と受験勉強は別のもので割り切るといいと思います!

## (2)1.2年時の学習方法

唯一心がけていたのは、学校の授業を能動的に受けることです。(板書以外にメモやイラストを取り入れるなど)。正直なところ、これさえ出来ていれば大丈夫です。実際に、先生が授業中におっしゃった知識がそのまま入試に出題されたこともあります。さらに、定期考査対策に充てるべき時間も減るのでおすすめです！

## (3)志望校の決定について

私の場合は、現実的な志望校を定めることなく共通テストを終えました。ただ、私は身の丈に合わないほどの高い志望校を周囲に宣言していたことで危機感を生み出していたため、それで困ることはありませんでした。もちろん、仮でもいいので目標は持っておいた方が上手くいきます。そのため、志望校が全く未定だという方は、一学生の意見として、京都大学あたりを掲げておくと良いと思います。(私も12月頃まではそうでした。)それから、自分の興味関心と大学の学問について早くから調べておくことで役に立ちます！(余裕のあるうちに、河合塾 Kei-net・みらいぶっく、旺文社パスナビなどを一度覗いてみてください。)

## (4)3年時の学習方法

### ①部活引退前

部活終わりなど、友達と塾に行くことを約束することで勉強を習慣づけていました。また、夏までに最低限共通テストに必要な分だけでも、英単語を完璧にしておくことで楽です。興味のある人は、英単語の語源を掘り下げるとより効率的に覚えられます！(知らない単語の意味に加えて、単語同士のニュアンスの違いもある程度理解できるようになります。)

### ②夏休み

文化祭の準備やコロナの関係で、まとまった時間は確保しづらかったですが、得意科目の英語だけは毎日触れていました。好きな人は、洋楽や英文ニュース記事も良い練習になります！(洋楽は Genius というウェブサイトでは歌詞を確認しながら聴いたり歌ったりしていました。ニュースは BBC や NBC が個人的に観やすかったです。)

### ③9月～11月

私は塾の自習室よりも学校の教室の方が集中できたので、放課後はよく18時頃まで残って、社会の暗記や英語・数学の演習に費やしていました。私は10月に国公立大学の総合型選抜を受けることに決めていたので、その準備も並行して行っていました。人も少なく静かで、先生方にも相談しやすいので、教室に居残りしてみるのもいかがでしょうか。

### ④共通テスト前

理科基礎や社会のような比較的暗記科目はこの時期に詰め込みました。共通テスト形式の問題が苦手だった数学は、趣味レベルで東大や京大の文系数学を解説動画とともに解いていました。(YouTubeでは林俊介さんの動画が理解しやすかったです。)

### ⑤共通テスト後

#### \*国公立2次試験対策

英語は複雑な構文に対応できるよう、過去問も参照しつつ『英文標準問題精講(旺文社)』という本の英文をひたすら漢文調に訳していました。(和訳でない理由は、文字数が省ける点と、漢文の構造が英文と似ている点を考慮したためです。) 数学の勉強内容は共通テスト前から

変えていません。国語は添削を依頼するべきだったと後悔しています。おそらく実戦力不足が原因で、前期試験は不合格となりました。後期試験は科目が英語のみだったため、対策していません。

### \*私立入試直前

参考までに、共通テスト利用で関西外国語大学(A判定)、明治大学(C判定)と、一般選抜で同志社大学2学部(A~B判定)を受けました。体調を崩さないよう睡眠は十分に摂った上で、特別な対策はしていませんが、縁あって全て合格をいただきました。

### (5) 大学受験で大切なこと

第一に、無理をしないことです。身も心も疲弊した状態では実力を発揮できませんし、何だかしんどいな、と感じたらゆっくり休んでください(私は長時間眠ったり、好きな音楽を聴いたり歌ったりしてリフレッシュしていました)。それから、常にとは言いませんが前向きに日々を過ごしてほしいです。入試だからといって萎縮する必要はありませんし、本番は「楽しんでやるぞ! きっと上手くいく!」と強気で臨めば何とかできます。

### (6) 後輩へのメッセージ

私のような人間が、紙面の前にいる貴方に「メッセージ」を伝えるのは恐縮ですが、以下読んでいただくと幸いです。「大学受験の結果で人生は決まらない」という言葉を耳にしますが、私は「自分が納得のいく努力をした上で」なら本当にその通りだと思います。結局のところ、皆さんがいずれ辿り着く先は縁ある先なのです。私自身も、担任の先生の助言がなければ受験すらしなかったであろう大学に運良く進学でき、まだ入学して1ヶ月と経っていない中で、徹夜で心から語り合える友人に出会うことができました。互いに受験という壁を乗り越えた先での出会いは、皆さんの想像以上に素敵なものです。その質が大学の難易度によって左右されることは無いと信じています。ただし、そこに至るまでに全力を尽くした人の方が、適当に受験生活を過ごした人よりも一層輝くと思うのです。受験勉強を頑張ると決めた方は、せっかくですから本気で挑んでみませんか。皆さんの明るい未来を願っています!

## ⑬ Y.0 奈良教育大学 教育学部 英語教育 後期合格 女子バスケットボール

### (1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

自分はまったくできてなかったです。部活終わって家帰ったあとの時間はすべて自由時間だと思っていたので。両立頑張ろうと思うなら嫌でも勉強させられる塾へ行くのもいいかもしれません。

### (2) 1.2年時の学習方法

自分が得意な英語だけは必ず9割取ることを目標にして勉強していました。

### (3) 志望校の決定について

国公立にどうしても行かなければならない理由があり、中学生の頃から教員志望だったため教育系の大学に行きたいと思っていました。近畿の国公立で教育学部がある大学をさがしていました。受験期に入的过程中で周りから国公立へ行くことを勧められることもありますが、



自分が行きたい大学が私立であればそこを選ぶことを躊躇しないでほしいです。

#### **(4)3年時の学習方法**

##### **①部活引退前**

受験生としての自覚がまったく無かったので、勉強よりも部活や友達との時間を優先していました。塾にも通っていませんでしたので勉強する習慣が一切身についておらず、勉強しなければならないと思ってから行動に移すのに時間がかかって結局やらないみたいな日が多かったです。

##### **②夏休み**

受験生は夏休みが命だと聞いていたので、さすがに勉強しなければならないと思い、勉強し始めました。英語を得点源にしたかったので、学校のリーディングとリスニングの講習には必ず参加するようにしました。部活引退してから塾に行きだして初めて共テの英語を解いたとき、速さと正確さに欠けていたので5割くらいしか取れませんでした。夏休み明けに違う年度を解いてみたとき、講習の時に教えてもらった速読やリスニングのコツを活かして8、9割取れるようになっていました。数学はそもそも基礎からできていなかったのも塾で1年生からの復習をずっとしていました。英語と数学以外はほとんど手つけてなかったです。夏休みの学校の講習はできるだけ行ってほしいです、自分の力になるはずですよ。

##### **③9月～11月**

英語がある程度安定して点数取れるようになってきたので他の教科をやり始めました。9月頃まで数学は基礎固め、応用問題を繰り返しやっていたのでやっと共テの問題に取り組みました。学校でJシリーズと呼ばれる全教科の共テ対策問題集的なものを買っていたのでそれをやりこみました。英語を勉強することが自分にとって休憩みたいなものだったので、数学や理科の計算でしんどくなったときは英語の長文1問解いたりしていました。

##### **④共通テスト前**

寝ている時間以外はすべて社会や理科の暗記科目に時間を費やしました。お風呂の中に携帯を持ち込んだり、ご飯食べているときとかはずっと日本史の動画を観たりしていました。あとはひたすら問題を解いて、20秒考えても分からない問題はすぐに答えを見て解答を写し、インプットとアウトプットを繰り返していました。試験前日は英単語と古典単語だけやれば良いと思っていたけど、いつまでたっても日本史が安定した点数が取れなかったのも寝る前まで動画を観ていました。

##### **⑤共通テスト後**

###### **\*国公立2次試験対策**

自分は英文和訳、和文英訳、英作があったので学校の英語の先生に添削してもらっていました。家では集中できず塾は夕方からしかあいていなかったのも学校に朝から毎日行っていました。小論文や英作がある人は自分で解答見るより実際に塾や学校の先生に添削してもらった方がいいですよ。

###### **\*私立入試直前**

共テの日本史で大失敗したので自信を無くしてしまい、もともと日本史で受けようと思っていましたが苦手な数学に変え、国、数、英の3教科で受けました。私立は過去問をどれだ

け解くかが合格するかしないかの鍵になると思います。解けば解くほど良いです。第一志望が国公立の人は、国公立の2次試験対策で私立の過去問をそれほど解かずに受験すると、最初から私立専願の人に勝つのは難しいと思います。

#### (5) 大学受験で大切なこと

模試や共テ対策問題集よりもはるかに当日の試験の方が難しいし、時間も全然足りないように感じます。しかしそれは、みんな同じだと思い、焦らず落ち着いて解いてください。あとはマークミスをしないうでください。マークミスで人生が変わってもおかしくないのです。国公立が第一志望の自分にとって私立にかけるお金が本当にもったいなく、家族にも申し訳ない気持ちでいっぱいでしたが、「この時期はある程度の方がまは家族も受け入れてくれる」と先生に言われて、未来への投資だと思えるようになりました。受験生のみなさんにもそう思ってもらえたら、もっと楽な気持ちで受験を迎えられると思います。

#### (6) 後輩へのメッセージ

辛いことがあればすぐに相談すること。友達や家族に相談しにくければ他の大人を頼ってください、きっと助けてくれます。

### ⑭ R.A 大阪公立大学 現代システム科学域 推薦型選抜合格 吹奏楽部

#### (1) 教科外活動（部活動）と学習との両立について

部活動がとても忙しかったため疲れて勉強ができない日もあり、自信を持って両立できていたとは言えません。ただ、勉強しない日があっても代わりに多く勉強する日を設けたり、何もしないよりは「これだけはやろう！」とやる気の出る教科から勉強したりと、モチベーションを上げてコツコツと取り組めるよう工夫はしていました。

#### (2) 1.2年時の学習方法

基本的には、小テスト・定期テスト・課題の勉強しかしておらず、大学受験対策は全くしていませんでした。しかし、小テストや定期テストの勉強には特に力を入れて取り組んでいました。個人差はあると思いますが、何か特別な勉強をしなくても、小テスト・定期テスト・課題等を真面目に大切にに取り組んでいれば、しっかりと基礎は定着すると思います。良い意味でも悪い意味でも、1.2年時の勉強が3年生に繋がります。

#### (3) 志望校の決定について

以前から中学校の教師になることを目標にしていたので、最初は大阪教育大学を志望していました。しかし、大阪公立大学の現代システム科学域・教育福祉学類という、教育だけでなく福祉やその他の分野から多角的に学ぶことができる大学・学域があることを知り、興味を持ちました。当時は、自分の学力を考慮すると合格するのは厳しいなと感じていましたが、学校推薦型選抜が実施されていることを知り、結果がどうであろうと全力でチャレンジしてみようと決意しました。

## (4)3年時の学習方法

### ①部活引退前

部活引退前の時期は、受験生としての自覚を持った勉強は全くできていませんでした。この頃の勉強内容は、3年生にも関わらず「(2)1.2年時の学習方法」とあまり変わりありません。英語の単語帳はシス単を使っていたのですが、この頃はまだ始めてもいませんでした。この後、英単語をもっと早くから始めたらよかったと後悔したので、英単語は早くに始めるに越したことはないです。

### ②夏休み

夏休みについてですが、私は8月中旬まで部活があったので、勉強漬けの受験生としての夏休みは最後の1週間程しか過ごせていません。そのため、満足な勉強はできませんでした。そして、この頃からやっと受験対策を始めました。主に、暗記の多い社会系の科目を一から復習して覚え直し、理科基礎も忘れていた内容があったので、1.2年時に使っていた問題集を解き直すという復習メインの勉強をしていました。学校推薦型選抜対策としては、河合塾の小論文講座を受講したり、勉強の息抜きとして図書館に行き、志望大学の学域に関連する本を読んだりして知見を深めていました。

### ③9月～11月

9月頃から塾に通い始め、英語と数学の演習は塾で行うようになりました。家や塾の自習室では、夏休みと同様、社会と理科に重点を置いて勉強していましたが、特に追いついていなかった日本史に一番時間をかけていたと思います。そして、9月中旬頃に志望理由書を作成し、10月頃から小論文の過去問に取り組み始めました。私が受験した入試の小論文には、英語の課題文が含まれた問題があったので、英文の和訳演習も行いました。日本語の小論文の問題については国語科の先生、英語の小論文の問題については英語科の先生に添削をもらい、とにかく出題形式に慣れることを目標にしていました。10月末からは、担任の先生や顧問の先生、進路の先生方にご協力いただき計5回の面接練習を行いました。また、志望大学・学域の面接では、受験者本人のことよりも社会問題について深く掘り下げられる傾向があったので、本やインターネットで教育・福祉等の社会問題や取り組みについて調べてまとめたりもしていました。これらの学校推薦型選抜対策には本当に時間がかかるので、共通対策は他の生徒に比べて後れをとりました。ですので、国公立大学の学校推薦型選抜の受験を考えている人は、一般入試のみの受験より負担が大きいことを理解し、何事も早く始めることが重要です。

### ④共通テスト前

共通テストは受けましたが、志望大学の合格後だったので省略します。

### ⑤共通テスト後

#### \*国公立2次試験対策

2次試験は受けていません。

#### \*私立入試直前

私立入試は受けていません。

## (5) 大学受験で大切なこと

私が思う大学受験で大切なことは、「合格するぞ!」という強い気持ちです。受験まで努力することはもちろん大切です、言われなくても皆さん努力すると思います。それに、努力は報われるというのも本当だと信じています。ただ、それでも入試当日に周りの空気に圧倒されたり異常に緊張したりして、本来の力を出し切れないことも実際にあります。そんな時に私たちの背中を押してくれるのは、自分自身の強い意志です。これさえあれば、不安な気持ちであっても腹をくくって堂々と受験に臨めます。皆さんは、これから勉強だけでなく自分自身の不安や焦りという気持ちとも上手く付き合っていくといけません。でも、せめて入試当日は、無敵だと思って「今日は合格しに来たぞ!」と強気な気持ちで自分を信じ、周りの空気に飲まれず受験してみてください。それだけで自分の力を最大限に発揮できると思います。

## (6) 後輩へのメッセージ

ここまで長く書いてきましたが、正直、私の受験生活は反省点が多いです。ただ、それでも合格できたのは 1.2 年時の頑張りだと思っています。ですので、1.2 年生は今の時間を大切に過ごしてください。3 年生は、できるだけ早く受験勉強を始めることをおすすめします。そして、やる気が出ないときは、短時間でも何かできないか考え、メリハリをつけて勉強してみてください。皆さんが希望の進路に進めることを願っています!

## ⑮ Y.T 大阪教育大学 教育協働学科 多文化/テラシー 推薦型選抜合格 女子バスケットボール部

### (1) 教科外活動(部活動)と学習との両立について

二年の夏休みに塾に入るまでは定期テストの休み期間に出された教科の範囲や日程を見て、勉強する教科の順番を考えるという形で勉強していました。部活がある日は疲れていてなかなか勉強に手をかけることができなかつたのですが、定期テストの成績はかなり重視して勉強していました。塾に入ってから部活後、塾に行くようにしていたので平日の勉強時間を確保できていたと思います。その日学校で習ったことの復習をメインに塾を活用していました。

### (2) 1.2 年時の学習方法

英語や古文の単語テストは最低限勉強するようにしていました。と言っても前日か直前に単語帳を見るというゆるい勉強をしていました。定期テストは七割後半から八割の点数を取ることを目標に取り組んでいました。

### (3) 志望校の決定について

三年の夏休みごろに志望校を決定しました。国公立推薦という受験方法が自分の今まで取ってきた成績等を活かすことができると思い決定しました。受験科目の違いや面接の練習、出願の時期が早いのでこの時期に志望校を決めることができよかったです。

#### (4)3年時の学習方法

##### ①部活引退前

部活練習後はできるだけ毎日塾に行くようにしていましたが、引退試合前になると勉強にあてる時間は短くおろそかになっていたように思います。引退前後は基礎固めの時期と言われるので、英語の単語や文法、数学の演習など応用につなげていけるよう苦手意識のあるものから勉強していました。

##### ②夏休み

志望校が決まり受験科目が三科目に絞られたので、英語の長文読解や古典等を重点的に勉強していました。文化祭準備などもありましたが、どちらも両立して時間スケジュールを決めて取り組んでいました。私は午前中から活動するのが苦手な午後から集中するという形で決めていましたが、夏休みの時間が十分にあるときに朝から勉強する、学校の講習をうまく活用するなどした方が安定して勉強時間を確保できると思います。また、この時期に河合塾の小論文講習を受けました。専門の先生に書き方のコツや方法を教えてもらえる良い機会だったので小論文が必要な方はこの夏の時期に問題を見ておくのも良いと思います。リスニングは短くていいので参考書についているCDを毎日聞いて慣れるようにしていました。共通テストの過去問は最低五年分を目標に解いていました。

##### ③9月～11月

この時期から推薦の面接練習を並行して始めていました。志望理由書を書いたり、面接の練習を先生に見てもらったり準備の段階でかなりバタバタしていましたが、共通テストの勉強は毎日4.5時間ほどしていました。日本史は授業の進みが遅く、焦りを感じていたので先取りで通史を進めるようにしていました。日本史はテーマ史や文化史など覚えることが多く流れを理解することが大切なので、余計に通史は早めにやっておくほうが良いなと感じました。

##### ④共通テスト前

毎日、時間と点数に焦らされるように勉強していました。授業内で共テの過去問を解く時間があると思うので、時間を図って実践し分からなかったことや同じ分野で理解していない所を掻い摘んで解けない部分を解けるようにすることをスタンスに勉強していました。この時期にきたら色々な事に手を出すよりできない所を見つけてそこを重点的にやっていく、他は覚えているかの確認程度で進めたら良いと思います。英語は毎日長文を一つは解くようにしていました。私は直前になって古典とリスニングの点数が安定してきたのでギリギリまで追い込んだら点数は伸びていくと思います。

##### ⑤共通テスト後

###### \*国公立2次試験対策

二次試験は小論文のみでしたが、推薦で合格したため受験していません。

###### \*私立入試直前

共テが終わり次第、急いで私立の過去問を解き点数のとれなさに撃沈、共テとは出題の範囲や大学ごとに傾向も様々なので早めに過去問を数年分解くことが大事だと思います。英語の文法や並び替えを重点的に勉強していました。私立入試まで時間が全然ないので傾向をし

っかりつかんで日本史は出そうなところを確認する程度にしていました。

### **(5) 大学受験で大切なこと**

大学受験で大切なことはリサーチ力だと思います。もちろん学力を伸ばして試験に合格しないと志望校には行けませんが、調べる段階で自分に合う大学を見つけていなければ、受験することさえできません。皆さんは国公立推薦という受験方法を知っていますか？自分の得意な分野や武器を活かせる、共通テスト重視、英語の配点が高いなど自分に合う形式をとっている大学が必ずあると思います。大体で大学を選ぶのではなくたくさん調べて、行きたいと思える大学を見つけてほしいと思います。その方が勉強をするにあたってのモチベーションになると思います。

### **(6) 後輩へのメッセージ**

これから身体的にも精神的にもしんどくなるのが沢山あると思いますが、勉強時間にとらわれたり、周りの情報に流されたりすることなく、合格するために何が必要かを考えて勉強してみてください。皆さんが希望する進路に進めることを願っています。

## **⑩ S.A 関西学院大学 教育学部 合格 体操部**

### **(1) 教科外活動（部活動）と学習との両立について**

正直部活後は疲れて寝てしまうことが多かったです。せめて部活がない定期テスト期間は集中して勉強しようと思い、多くの勉強時間を確保していました。

また2年生の冬からは塾に通い、部活後でも勉強する時間を作るようにしていました。勉強がおろそかになるのはよくないけれど、部活動は高校生活の中でとても思い出に残ることなのでその時間も大切にしてほしいと私は思います。

### **(2) 1.2年時の学習方法**

定期テストの勉強以外には小テスト勉強や課題、必要な授業の予習ぐらいで受験勉強はあまり意識できていなかったです。ただ、受験を経験したいま、思うことは単語などをもっとしておくべきでした。このことは私自身先輩方の合格体験記で何度も見かけましたし、受験生の皆さんもまたかと思うかもしれません。私もその時は納得しながらも毎回の小テストきりで忘れてしまったり、さぼってしまったりしていました。ただ、受験生になると本当に基礎の大切さを実感します。だからこそ早いうちから意識してほしいと思います。

### **(3) 志望校の決定について**

教育学部というのは高校に入る前から決めていて、初めは大阪教育大学を視野に入れていましたが、大学について調べたり考えたりしていくなかで私立大学に魅力を感じ、2年生の後半に2つの私立大学を志望校にしました。ただその時はとりあえずレベルの高い方を第一志望にただけで、どちらに行きたい気持ちが強いとかはなかったです。3年の秋ごろまで悩んで、それまでの勉強を無駄にしたくなかったのと、やはり難易度の高い大学に行きたいという思いで今の大学に決めました。

#### (4)3年時の学習方法

##### ①部活引退前

私は4月末に引退だったので3年の4月は部活を全力で楽しんでいました。ただ、勉強が遅れてはいけないとはわかっていたので、部活後は塾に行き授業を受けたり、予習・復習をしっかりとるようにしたりしていました。

##### ②夏休み

朝に学校の講習があるときは参加して、それ以外は基本、塾に行き夜まで勉強していました。私は国語、英語、日本史の3教科での受験だったのでどの教科も満遍なく勉強することを心掛けていました。塾の授業などで設問ごとに似た問題や実際の過去問を解くことはありましたが、塾の方針で自ら過去問を解くことや1科目全て解くことはまだせず、基礎知識を固めたり暗記、演習をしたりしていました。私はこの長期休みで朝から晩まで勉強するという学習習慣を身につけ、以後それを当たり前にしていきました。

##### ③9月～11月

この時期、私は第2志望の公募推薦を受けるか迷っていました。受験し、合格して一安心したいのと残りの期間を第1志望だけに集中したい気持ちはすごくありました。ただ、その時点での自分の学力に自信がなく、最終的に私は公募推薦を受けずに一般入試に全力を尽くすことに決めました。そんな中、周りのみんなは公募推薦に合格した子どもたくさんいて、自分はまだ一つも大学が決まっていない状況ですごく不安にもなりましたが、それが逆にやる気に繋がり、さらに受験勉強に必死に取り組むきっかけになりました。

##### ④共通テスト前

私立志望だったので共通テストの勉強は学校の授業などでしかしていませんでした。ただ、受験するからには無駄にしたくなかったので共通テストの直前は私立受験にもつながる日本史の暗記ばかりしていました。

##### ⑤共通テスト後

###### \*国公立2次試験対策

国公立受験はしていないので対策していません。

###### \*私立入試直前

とにかく過去問を解き、問題に慣れていきました。私立受験は同じ年度で何日程もあり、その分過去問がたくさんあるのであまり昔のものは解かず、数年間のいろんな日程の問題を解きまわりました。過去問以外では単語や熟語、日本史などの暗記を繰り返し勉強していました。残り1週間は過去問を解いても私の場合不安な気持ちになる一方だと思ったので、一切解かずに暗記事項を何度も確認したり完全でないところを詰め込んだりしていました。

##### (5)大学受験で大切なこと

ありきたりなことですがとにかく最後まで諦めないことです。私自身、模試ではずっとE判定、過去問を解いても合格最低点を超えられたことはあまりなく、実際に受験した後も自信はなく、これだけ頑張ったから受かりたいという気持ちは常にありましたが、合格発表の1秒前まで本当に受かるとは思っていませんでした。しかし結果的には複数日程で合格することができました。途中で目標を変えることは間違いではないと思うし、それもひとつの選択

肢だと思えます。ただ、早いうちから諦めるのではなく努力し続ければ報われることがあるのも確かです。最後は自分が後悔しない選択をしてほしいと思えます。

#### **(6)後輩へのメッセージ**

大学受験は本当に辛く大変だと思えます。勉強をやめたくなることも何度もあると思えます。ただ、終わってみれば意外と一瞬だったと感じます。だからこそ毎日が無駄にせず最後まで頑張してほしいと思えます。それと同時に高校生活もあっという間に終わってしまいます。受験間近になると教室の人数がだいぶ減ってしまうことがありますが、私は友達と話すことや学校に行くことを勉強の息抜きとしていたので、なるべく休まず最後まで高校生活を楽しんでいました。受験勉強はもちろん大事ですが、八尾高校での生活も一度きりしかありません。何事にも全力で取り組み、勉強においても学校生活においても充実した八尾高校での3年間にしてほしいと思えます。

### **⑦ K.N 同志社大学 商学部 合格 陸上競技部**

#### **(1)教科外活動（部活動）と学習との両立について**

両立は正直できていませんでした。部活があるときは部活一筋、テスト前だけ頑張って勉強していました。三年になってからも引退するまでは、部活優先で生活していた。

#### **(2)1.2年時の学習方法**

授業は集中して聞くようにしていました。テスト前に復習しやすいようにメモとかもしっかり取るようにしていました。

#### **(3)志望校の決定について**

僕は「どうしてもここに行きたい」というような大学がなくて、だいぶ遅くまで悩んでいました。初めは漠然と国公立に行きたいと思っていただけ、部活を引退してからまた陸上をしたくなって、いろいろな大学に見学や練習に行き同志社大学に決めました。まだ志望校に悩んでいるなら、悩んでいる大学に実際に行ってみて雰囲気や移動時間などを知るのも大事だと思えます。

#### **(4)3年時の学習方法**

##### **①部活引退前**

この時期は部活に集中したかったので、勉強は基礎だけやっていました。英単語や英熟語などの手軽に勉強できるものはとりあえず毎日続けました。そのおかげか、夏休み頃には長文が時間をかけたならある程度読めるようになっていました。

##### **②夏休み**

一番大きな大会も終わって、優先順位が完全に入れ替わった時期でした。基礎を完全に固めるのを目標に英単語を徹底的にやって、古文単語もやり始めました。選択科目の日本史は参考書を2周ぐらいしていただきたいの流れつかむ事を意識しました。夏休み後半ぐらいから試して過去問をやったりもしました。



### ③9月～11月

10月中頃には、第一志望と併願校を決めて対策を始めました。日本史は問題を解いて復習をひたすら繰り返しました。国語は1日に1題解くようにして、英語も同じで長文を毎日解きました。演習をひたすら繰り返していくことで、問題の解き方がわかってきたり、聞かれやすい範囲がわかってきました。大学ごとに問題の特徴も違うので、志望校の問題の傾向をつかむのがまず大切です。

### ④共通テスト前

同志社大学の過去問と並行して共通テストの対策をしていました。昼に授業が終わってすぐに塾に行って夕方まで過去問。軽食をとって夜に共テ対策という流れで毎日やっていました。その場その場でやることを決めるのではなく、ある程度1日にやることを事前に決めておいてそれに沿って勉強したほうがスムーズに進むのでオススメです。

### ⑤共通テスト後

#### \*私立入試直前

毎日過去問1年分解いていました。日本史は一問一答を使って最後の追い込みをかけました。また、今まで間違えた、単語、文法、用語をまとめて復習して弱点をつぶしていきました。

### (5)大学受験で大切なこと

一緒に頑張れる友達は本当に大切です。周りが頑張っていたら自分も頑張れる。受験は団体戦と言うけど、勉強がしんどくなってきたときにその意味がよくわかると思います。

### (6)後輩へのメッセージ

努力は報われるまでしてください。あきらめずに最後までコツコツ頑張れた人にだけチャンスはやってきます。自分を信じて頑張ってください。応援しています。



**大阪府立八尾高等学校**